

平成30年度教育計画

1 学校目標

(1) 校訓

「真実」「克己」「規律」の校訓のもとに、日々の学校生活を通して、心身共に健康な人間を育成する。

(2) 教育方針

- 真実と正義を求め、人格を尊重し合う人間として資質の伸長を図る。
- 己に打ち克ち勉勵に努め、自主・自律の精神の育成を図る。
- 社会的秩序や調和を重んじ、相互啓発・相互鍛錬に努める気風の育成を図る。
- 地域社会と関わる体験を通して、郷土愛を育む意識の高揚を図る。

(3) 今年度経営方針

I 基本姿勢

学校の教育活動計画全体をキャリア教育的な考え方をベースにして展開することにより、社会の一員としての自己を理解し、夢の実現に向けて挑戦する明るく活力ある生徒を育成する。

<目指す学校像>

- 生徒と教職員が元気で活気あふれる学校
- 一人ひとりの生徒にとって安全・安心で信頼できる学校
- 学ぶ喜びを感じさせ、生きる力を伸ばす学校
- 入学した生徒全員が進路を決めて卒業できる学校
- 地域の人々から応援してもらえる学校

II 重点実施事項

1 各教科・科目の指導について

- 全教職員が共通意識を持ち、授業の開始時・終了時の服装・礼法指導、ベル即授業を徹底する。
- 各教科科目において、キャリア教育の視点（学ぶ・生きる・働く）を意識した指導を展開する。
- 学校設定科目「五高ベーシック」や朝学習の充実・改善を図り、分かる喜びにつながるのと同時に、基礎学力を身に付けさせる。
- 各教科での課題の与え方等を工夫し、連携して家庭学習の習慣付けを図る。
- 生徒の主体的、対話的な深い学びを目指し、授業改善に努める。

2 進路指導について

- 三者面談などを通して保護者との連携を保ち、3年間の系統的な進路ガイダンスを推進し、早い段階からの進路意識の高揚を図る。
- 生徒一人ひとりの進路希望を実現させるため、個に応じたきめ細かい進路指導を行い、卒業生全員の進路先決定を目指す。
- 全員参加のインターンシップにより、実践的なキャリア教育を推進する。
- 自分をアピールできるものの一つとして将来に役立つ資格取得を奨励し、積極的に支援する。
- 進学及び就職先の開拓に努める。特に国立大と看護系の進学についての可能性を広げるべく大学との連携を積極的に行う。また、大学入試改革に対応すべく準備を調える。
- 進路先の追跡調査を行い、離職防止等進路指導の改善につなげる。

3 生活指導について

- 生徒一人ひとりの行動を見守り、個人面談や日常的な声掛けを行うことにより、厳しくかつ丁寧で温かい指導を行う。
- いじめ0（ゼロ）を目指し、本校いじめ防止基本方針に則り、予防と早期発見、組織での早期対応に努める。

- 問題行動に関して全教職員の共通理解を図り、問題行動を起こさせない予防指導（事前指導）を推進する。
- 全校一斉の整容指導を定期的・組織的に徹底する。また日常的に、挨拶やマナー指導について継続的な指導、定期的な検証を行い、規律ある生活習慣を確立する。
- 清掃指導を徹底し、生活環境の保全を図るとともに、清掃活動を通して社会性や公共性を育成する。（保健・教育相談部との連携）
- 教育相談機能の充実を図るとともに、生徒の変化を複数の目で捉え情報を共有する。（保健・教育相談部との連携）

4 特別活動・部活動等について

- 生徒会執行部を核とした、生徒による自主的な生徒会活動を支援する。
- 部活動を通して達成感を醸成し、相互錬磨を図るとともに、また部活動を、放課後の有意義な活動の場とするために、部活動への全員参加を奨励し活性化を図る。
- 地域貢献活動等で積極的に地域に飛び出し、他に認められる喜びを経験させ、自ら社会に貢献しようとする態度を育成する。
- インクルーシブ教育を推進し、障がいに対する理解や共生意識を醸成する。

5 職員研修について

- 「教科・科目の中でのキャリア教育の進め方」を研究し推進を図る。
- 「主体的・対話的な深い学び」についての理解を深め、生徒主体の学習形態を組織的に研究する。

主体的、対話的な深い学び

【深い学び】

習得・活用・探究の見通しの中で、教科等の特質に応じた見方や考え方を働かせて思考・判断・表現し、学習内容の深い理解につなげる「深い学び」が実現できているか。

【対話的な学び】

子供同士の協働、教師や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自らの考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているか。

【主体的な学び】

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているか。

- 校内授業研修、生徒による授業アンケートを実施し、授業改善を図る。中高学習指導研究協議会や近隣中学校授業公開へ積極的に参加し、また効果的なオープン授業デーの在り方を工夫する。
- 「教科・科目の中でのキャリア教育の進め方」を研究し推進を図る。
- 特別支援教育について、高校生学校生活サポート事業連絡協議会の伝達研修等により職員研修を深める。

6 情報発信について

- 各種たより・ホームページ・フォトニュース・PTA会合等、いろいろな機会を捉えて学校の教育活動を紹介し、保護者や地域の人々から理解と協力を得られるように努める。また、部活動大会日程や学校行事等、常に新しい情報を発信する。

7 教育公務員としての自覚について

- 教育公務員としての責任を自覚し、道路交通法を守り交通事故に注意し、金銭や会計処理、個人情報等の管理を厳格にして不祥事や不正を根絶し、生徒や保護者、地域からの信頼を得られるよう行動する。

<育てたい生徒像>

- 心身共に健康で、互いの人格を尊重し、誰とでも適切な人間関係を形成できる生徒
- 情報を収集・活用して自らの将来を設計し、その実現に向けた計画を実行できる生徒
- 自らにふさわしい進路選択・決定を行い、自ら課題を設定してその解決に取り組む生徒
- 自らを理解し、今後の成長のために望ましい方向へ進んでいける生徒